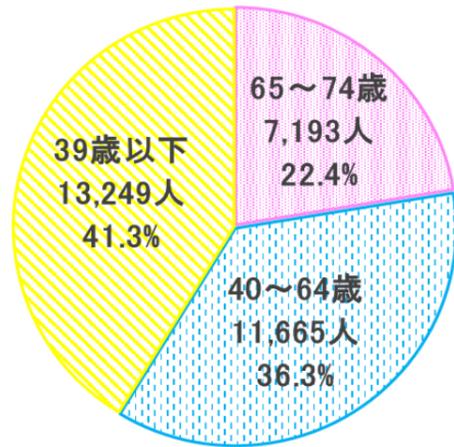


第1期データヘルス計画が平成29年度をもって終了となったことに伴い、第2期データヘルス計画を策定しました。第1期計画の評価を行い、更なる被保険者の健康保持増進に努めるため、第2期データヘルス計画では、ターゲットを絞った重症化予防の取り組みと健診未受診者対策やメタボリックシンドローム対策等のポピュレーションアプローチを組み合わせた保健事業を展開していきます。また、健診結果やレセプト等のデータを用いて、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を進めていきます。

さらに、保健事業の実効性をより高めていくために、「第3期浦添市特定健康診査等実施計画」と一体的な計画として策定しています。

■計画期間：平成30年度から平成35年度までの6年間とし、平成32年度に中間評価を行います。

## 1. 浦添市国保の現状ってどうなっているの？



年々国保の加入率は、65～74歳の高齢者の割合が増加しています。高齢化率は年々高くなっており、今後、医療費のみならず、介護費の負担も増加することが予想されます！！



## 2. 第1期データヘルス計画に係る評価および考察

平成25年度と平成28年度を比較すると

### 中長期的な目標の達成状況

※中長期的な目標とは、糖尿病性腎症、虚血性心疾患、脳血管疾患への重症化を予防すること。

- 介護給付費は、全体で7億6,024万円増加しています。
- 医療費の状況は、一人当たり1,507円/月 増加しています。

#### 一人当たりの医療費の変化



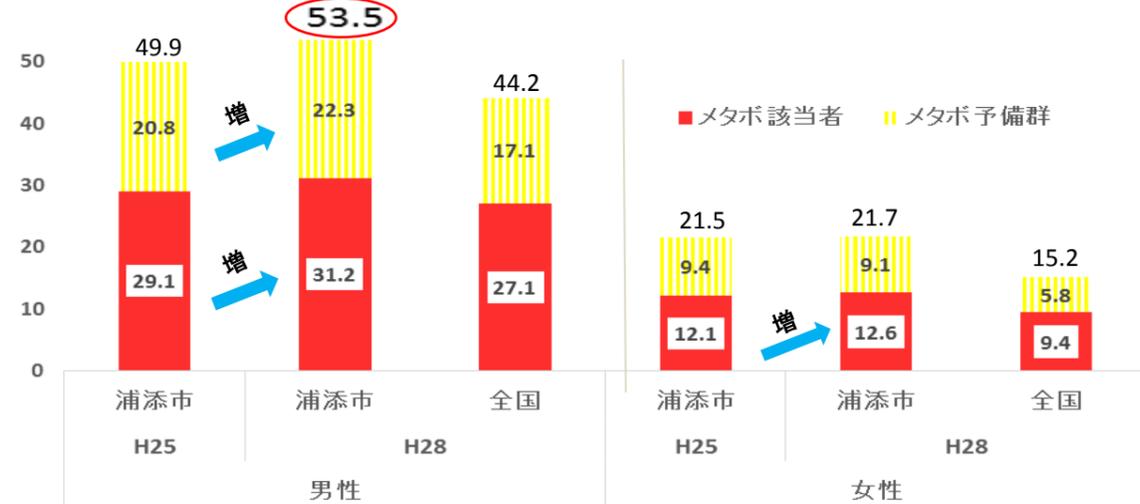
- 虚血性心疾患、脳血管疾患は、総医療費に占める割合は減少しています。
- 慢性腎不全(透析あり)の患者数は増え、総医療費に占める割合も増加しています。

## 短期的な目標の達成状況

※短期的な目標とは、重症化の共通リスクとなる高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドロームの発症を予防すること。

- 糖尿病や高血圧、脂質異常症の有病割合は減少していますが、人工透析を受ける等、重症化している人が増えています。
- 男女ともにメタボリックシンドローム該当者が増加しています。男性は予備群まで増加しており、H28年度では該当者と予備群で半数以上を占めています。男女とも、該当者と予備群ともに、全国より高い状況です。

特定健診受診者のメタボリックシンドロームの状況(%)

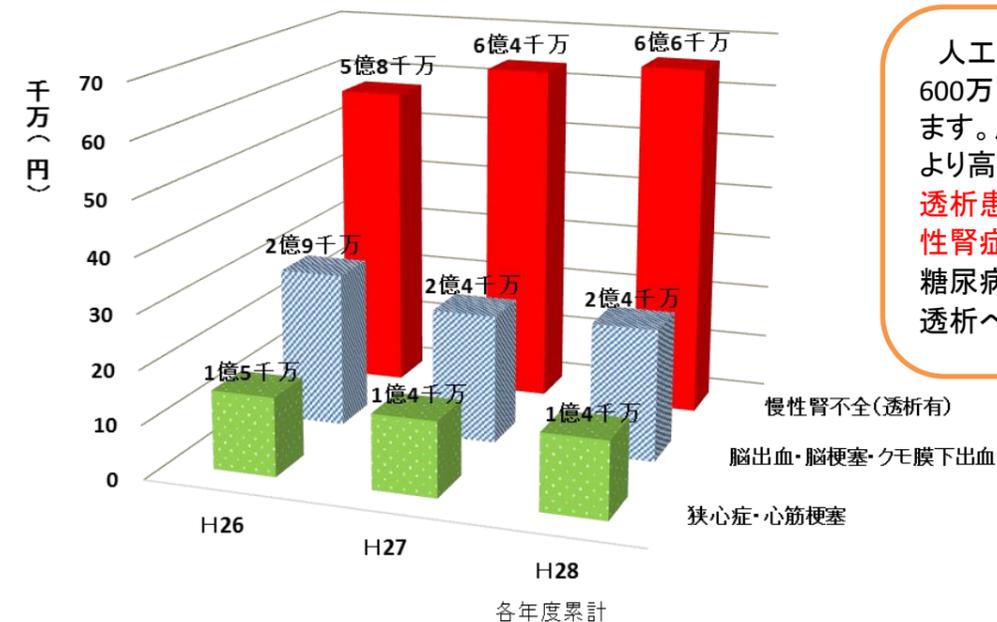


- 特定健診受診率は、H28年度は35.3%とH25年度より1.4%増加しています。しかし、県平均より低い状況です。
- 特定保健指導実施率は、H28年度は58%(H25年度71.4%)と国の定める目標60%に達していない状況です。

生活習慣病の発症及び重症化を予防するためには、市民が特定健診を受診し、その後の保健指導を通して自身の体の状態を正しく理解し、生活習慣改善に取り組むことや、医療受診が必要な方に対し医療受診を勧奨するなど、メタボリックシンドロームを中心とした保健指導を今後も強化することが必要です。

## 3. 第2期計画における健康課題

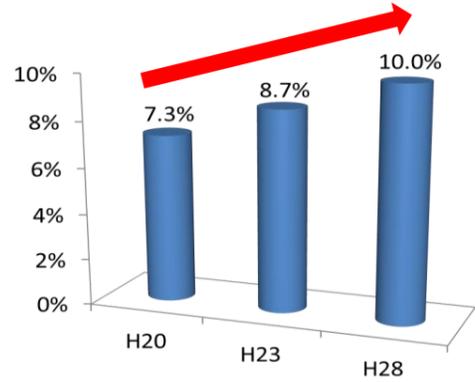
### 人工透析患者の医療費の推移



人工透析は、1人当たり年間500～600万円の高額の医療費がかかります。虚血性心疾患や脳血管疾患より高額で、年々、増額しています。透析患者の約半数(46%)は糖尿病性腎症です。糖尿病の重症化を予防することで、透析への移行を防げます。



特定健診受診者のうち糖尿病が疑われる者(HbA1c6.5%以上)の割合



糖尿病が疑われる者の割合が年々増加しています。H28年度では、糖尿病が疑われる者のうち、15%の方が医療機関未受診です。糖尿病は薬物療法のみでは改善が難しく、内服中でもコントロール不良の方もおり、生活習慣改善のための保健指導も大切です。



介護認定を受けている方の状況

介護認定を受けている方の持病			
疾患名		40～64歳	65～74歳
循環器疾患	脳血管疾患	67.2%	55.6%
	虚血性心疾患	24.6%	35.2%
	腎不全	13.1%	14.8%
基礎疾患	高血圧・糖尿病・脂質異常症	83.6%	91.2%

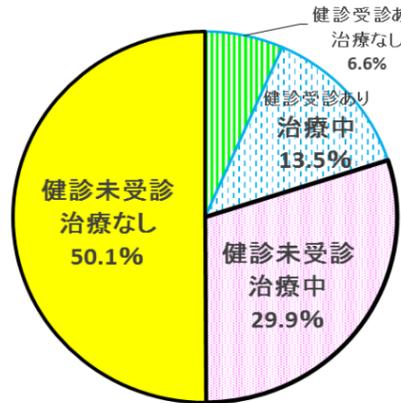
介護認定を受けている方の半数以上が、脳血管疾患を患っています。特に40～64歳の若い世代では、約7割が脳血管疾患です。脳血管疾患が原因で介護に至っていることが伺えます。



健診未受診者の状況は？

① 年齢別健診受診状況

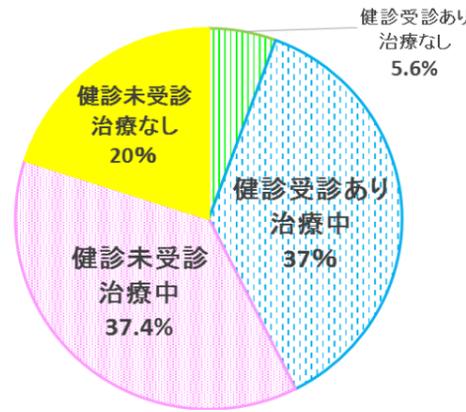
40～64歳の被保険者の健診受診状況



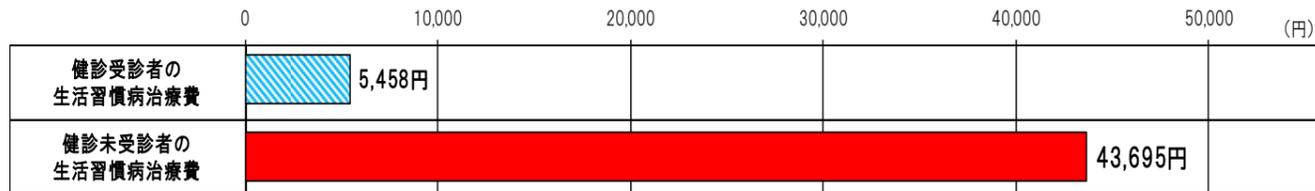
40～64歳の若い世代では、80%が健診未受診です。さらに、健診も治療も受けていない方が50%と半数おられます。生活習慣病は自覚症状なく進行します！特定健診を受けましょう♪



65～74歳の被保険者の健診受診状況



② 健診受診者と未受診者の医療費の比較



健診未受診者の治療費が、健診受診者の治療費より、38,237円高額です。健診を受診し、早期に医療受診し、生活習慣を改善することで、重症化せず医療費を抑えることにつながります。



第2期 浦添市の健康課題

- ① 入院の件数は全体の3.6%だが、費用額割合は全体の約半分を占めている。
- ② 医療費と介護の負担が大きくなる疾患(脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症)の基礎疾患である、糖尿病、高血圧、脂質異常症の方への受診勧奨に加え、治療中の方を重症化させないための取り組みが必要。
- ③ 男女ともにメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が全国より高く、肥満対策の取り組みが必要。
- ④ 40～64歳の80%は健診未受診であり、健診も治療も受けていない方が半数を占め、重症化している可能性もあるため、受診率向上に向けた医療機関連携や対象者に応じた保健指導が必要。

第2期計画の目標

平成35年度までに...

特定健診受診率 : 60%以上 特定保健指導率 : 60%以上

中長期的な目標 : ○ 糖尿病性腎症、虚血性心疾患、脳血管疾患を減らす。

短期的な目標 : ○ 糖尿病、高血圧、脂質異常症、メタボリックシンドロームを減らす。

第2期 保健事業の内容

※ 下線は、第2期計画からの新規事業

